



2023年11月10日

各 位

上場会社名 CKD株式会社
代表者 代表取締役社長 奥岡 克仁
(コード番号 6407 東証プライム、名証プレミア)
問合せ先責任者 経理部長 竹澤 正
(TEL 0568-74-1006)

通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当） 及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2023年5月12日に公表しました通期連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
また、2023年11月10日開催の取締役会において、2023年9月30日を基準日とする剰余金の配当及び期末配当予想の修正を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2023年5月12日発表）	百万円 142,000	百万円 14,500	百万円 14,500	百万円 10,000	円 銭 149.87
今回発表予想（B）	132,500	11,400	11,400	7,550	113.14
増減額（B－A）	△9,500	△3,100	△3,100	△2,450	—
増減率（％）	△6.7	△21.4	△21.4	△24.5	—
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	159,457	21,170	21,181	14,788	221.76

(2) 修正の理由

世界経済の見通しは、社会・経済活動の正常化が進展する一方、インフレの長期化や金利引き上げの影響、依然続くロシア・ウクライナ問題をはじめとする地政学リスクの高まりなどにより、下振れリスクが高く、景気回復は一進一退の状況にあると予想されます。

そのような中、当社グループを取り巻く事業環境は、製造業の自動化・省人化需要は底堅く推移することが見込まれるものの、グローバルにおける在庫調整などの半導体設備投資抑制の影響が期初の想定よりも長期化し、第3四半期以降も継続するとみております。

そして、本格的な需要回復は、2024年度以降にずれ込み、当期は厳しい事業環境が継続すると想定していることから、2023年5月12日に発表しました通期連結業績予想を上記のとおり下方修正します。

なお、2023年10月1日から2024年3月31日までの期間における為替レートは第1四半期決算発表時点から見直し、1米ドル130円から142円とします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（1）配当の内容（中間配当）

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日公表)	前期実績 (2023年3月期中間)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	24円00銭	26円00銭	42円00銭
配当金総額	1,601百万円	—	2,801百万円
効力発生日	2023年12月11日	—	2022年12月12日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）配当予想の内容（期末）

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	34円00銭	60円00銭
今回修正予想	—	22円00銭	46円00銭
当期実績	24円00銭	—	—
前期実績 (2023年3月期)	42円00銭	47円00銭	89円00銭

（3）剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、経営基盤の充実と更なる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元については配当性向40%を目安としております。

上記方針及び当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期末配当については直近予想から1株当たり2円減配の24円とさせていただきます。なお、期末配当予想についても、直近予想から1株当たり12円減配の22円とさせていただきますことを予定しております。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上